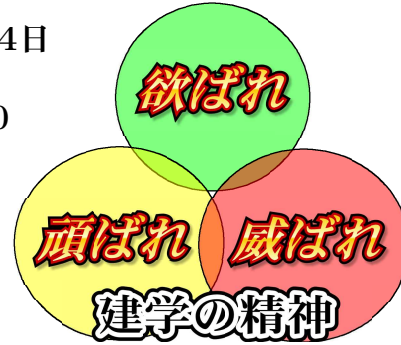




第 4 号 令和7年2月14日
旭市高生77番地
TEL 0479-55-2150

さんばれ



《学校教育目標》

ホームページ <http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/jhs-unakami>



心身共に健康で 自己実現に向け 学び合う生徒の育成

《保護者アンケートの結果について》（令和6年度）

12月にご協力いただきました学校評価アンケートをもとに、成果と課題について項目ごとにまとめました。評価結果やご意見を学校運営の改善に生かせるよう努めて参りますので、今後とも本校へのご支援をよろしくお願い致します。

全体について

アンケート項目を令和3年度に見直し、生徒アンケートを15設問から25設問、保護者アンケートでは、全23設問にし、4年目となります。肯定的な意見の平均は、昨年度と同様88%台となりました。

保護者アンケート	R3	R4	R5	R6
肯定的意見平均	77.8 %	78.3 %	88.9 %	88.2 %
前年度比		+ 0.5	+ 10.6	- 0.7

前年度比±2%未満の設問結果を

除くと、2個の設問で向上し、5つの項目で低下しました。低下した項目を見ると、NO,9 生活習慣の改善、体力向上 (94.4%-2.1)、NO,14 配慮が必要な生徒に対しての適切な支援 (88.8%-2.9)、NO,18 生徒にとって安全・安心な場所 (91.6%-2.1)、NO,21 家庭学習の習慣定着への支援 (68.5%-2.5)、NO,22 部活動運営の適切な運営 (84.5%-5.7) の5つがありました。

NO.9、NO,14、NO,18 の3項目については、今後も教科指導、生徒指導、職員間の共通理解、保護者との情報共有をしっかりと実践し、向上を図って行きます。また、NO,21 の家庭学習については、学校としても大きな課題としています。生徒設問では NO,11 学力向上を目指し、家庭学習への取組が充実してきている。について肯定意見 79.2%と+7 P 意識は高くなってきていることから結果と取組が一致していけるよう取り組みたい。

NO,22 部活動運営については、一生懸命取り組んでいる子どもたちの成長、努力している子どもたちを賞賛し、部活動ガイドラインに沿って運営にあたっています。また、部活動を含め学校生活全般を通して、子どもたちを傷つけてしまう言動やハラスメントなど、十分に配慮しながら今後も指導にあたって参ります。

令和5年度の学校評価結果や日頃からのご意見等を、学校運営に盛り込みながら改善に努めた1年でした。体育大会の内容の変更、PTA 種目の復活など、様々な要望について検討し、改善できる場合は早期に対応することを心がけてきました。変化の大きい社会の中で、多感な子どもたちを育てていくために、本校の保護者の皆様からいただく励ましやご協力が大きな支えとなっております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

学習指導について

学力向上については、全体評価でも触れたとおり、本校の喫緊の課題として日々取り組んでいるところです。学校では、週に3~4時間の授業であってもその積み重ねを大切に、学ぶ楽しさや自ら学ぼうとする自主性の育成に重点を置いています。本年度は、「学力向上」に向けて、この3年間で

実践してきた授業改善、宿題のノルマ学習から自主学習への切り替え、読解力向上に向けたワークシートの実施、集中して聞く力の育成に向けた職員による読み聞かせにより、全体的な成果が様々な場面で見られました。

来年度は、全ての授業における音読、視写、暗唱などでさらに読解力を磨き、授業の理解度を向上させるとともに、一人でも教科書や参考書を元に学習できる基礎を育む実践を考えています。

生活指導について

学校生活では、落ち着いて授業に臨み、学校行事や部活動においては、積極的に参加する姿がありました。学校行事では、多くの保護者の皆様にも参観いただき、伸び伸びと活動する子どもたちの活躍を見ていただけたことと思います。また、生徒会が主催するボランティア活動等にも意欲的です。

次に生徒指導上の課題として、友達同士の気持ちのすれ違いや何気ない一言でいじめにつながることです。毎月のアンケートや教育相談等で情報をキャッチし、丁寧な対応をしています。

本校におけるいじめの認知件数は、1月末で35件（前年度比+27件）になり、昨年度より、ささいなことも認知し対応して参りました。いじめは、常に起こり得ることを職員間で共通理解を図り、生徒にも道徳や集会など、様々な場面で豊かな心の醸成を目指しているところです。

不登校については、学校の取組が表面に見えにくいところですが、家庭との連携や支えとなるよう取り組み、新たな不登校を生まないよう早期対応を図っています。NO,4 (86.1%+1.3)

スマホやゲームについて

生徒アンケートの設問No.22について夜10時以降にやらないようにしている生徒は、45.8 %と3年連続で増加しています。まだ、半数を満たしていませんが、体に悪く、学校生活等に悪影響があることを理解してきた生徒が増えてきていると感じます。スマホやゲームについては中毒性がある事が指摘されています。ゲーム依存やスマホ依存により昼夜逆転することが、遅刻や登校しぶり、不登校のきっかけになっている場合が多く見受けられます。また、いじめや不特定多数の交友関係により、犯罪やトラブルに巻き込まれるケースも少なくありません。結果的に学力向上にもつながらず、負の連鎖につながります。

この項目に改善が見られることが、学力向上、遅刻や不登校の減少、健康・体力の向上など、様々な面で子どもたちにプラスになると思います。

自由記述について

自由記述のコメントでは多くの温かい励ましや改善に向けてのご要望等のコメントをいただきました。ありがとうございました。

○公衆電話がなくなって、下校時刻の急な変更時に連絡手段がなくなり困る。また、犯罪が多く子どもだけの下校に不安を感じる。1年

☆公衆電話が撤去されるにあたり、下校時刻等の急な変更時はテトルで周知し、公衆電話の代わりに学校の携帯を貸し出しております。下校の際は、複数人下校を奨励し、寄り道しないよう指導しております。

○アンケートの回答選択に「わからない」を入れてほしい。匿名

○アンケートの意見の入力フォームを改善してほしい。長文等入力しづらいため。1年

☆アンケートについての改善を検討して参ります。ありがとうございます。

○携帯の使い方で子どもと衝突します。入学と同時に購入しましたが、後悔しています。学校でも指導していただき感謝しています。1年

☆携帯スマホの問題は、子どもたちの成長に直結しています。子どもたち自らが気づけるよう指導して参ります。

○学級の合唱コンクールを復活できるよう再検討をお願いします。1年

☆3年前から検討してきました。伴奏者の確保、コンクール中心の文化祭等の課題から、生徒の自主性を引き出す現在の形になっています。今回のご意見を参考に検討させていただきます。

○先生方が親身に接して下さり、入学後の不安が軽減された。1年、3年 複数

○生徒理解に疑問を感じる先生がいる。匿名

☆職員と共通理解を図り、共通実践に取り組んで参ります。

※裏面に学校評価結果